

neditus

乾湿両用クリーナー

品番

NV-115AMZ

取扱説明書 (保証書付き)



吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	○
油類	×

も く じ

安全上のご注意	1
梱包内容	3
各部の名称	4
お掃除前の準備	5
ご使用方法	8
お手入れ	11
安全のための点検のお願い	12
こんなときは(故障かな?と思ったら)	13
仕様	14
別売消耗部品のご案内	14
製品保証書	15

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。**

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みのうえ正しく
お使いください。お読みになったあとは、お使いになる
方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、
本説明書を必ずお読みください。

日本国内用 FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

このクリーナーは業務用です。十分に使用方法を習熟されていない方は、ご使用にならないでください。掃除用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

 警告 取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。	 注意 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容です。
--	---

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

 ○記号は、してはいけない『禁止』内容です。（左図は分解禁止）	 ●記号は、必ず実行する『強制』内容です。（左図はプラグを抜く）
--	---

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

 強制 この取扱説明書に従って使用する。 付属品は必ずメーカー指定のものを 使用する。 * 事故の原因になります。	 強制 定格15A以上のコンセントを単独で 使用する。 * 他の器具とコンセントを併用したり、 電源回路の許容電流が合わない、分岐 コンセント部が異常発熱・発火すること があります。
 濡れ手禁止 濡れた手で、電源プラグやスイッチ、 クリーナー本体に触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。	 強制 雨にぬれないよう屋内で保管する。 * 感電の恐れがあります。
 禁止 引火性の液体や気体、または粉じんのある 場所で使用しない。 * 発火する恐れがあります。	 水濡れ禁止 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる 場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。
 禁止 人体に有害な物質を吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性が あります。	 強制 電源プラグのほこりなどは、定期的に 乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気な どで絶縁不良になり、火災の原因になり ます。

注意

 禁止 10 μ m(マイクロメートル)以下の粉じんは吸引しない。 * 本機は極小微粉じん吸引には適しません。 ①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。 ②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、雰囲気汚染の原因になります。

⚠注意

 プラグを 抜く 動かなくなったり、異常がある場合は、 すぐに電源プラグを抜いて、販売店に 必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の 恐れがあります。	 分解禁止 改造しない。 修理作業員以外の人は、分解・修理を 絶対にしない。 * 火災や感電、ケガの原因になります。 * 修理は販売店または弊社「お客様相談 室」へご相談ください。
 強制 電源は交流100V専用コンセントを 使う。 * 交流100V以外の電源を使用すると、 火災や感電の原因になります。	 禁止 電源コードは延長しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあり ます。
 強制 使用する電源回路を事前に確認する。 * 許容電流15A以上の電源回路が必要 です。 許容電流が合わないと、過熱などにより 事故の恐れがあります。	 禁止 電源コードやプラグが傷んだり、コン セントの差込みがゆるいときは使用 しない。 * 感電やショートして発火する恐れが あります。
 強制 所定の位置にフィルターを必ず取付 けて使用する。 * 事故やケガの原因になります。	 禁止 クリーナーを遊具として使用しない。 * 感電やショートして発火する恐れが あります。
 水場使用禁止 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の 原因になります。	 火気禁止 火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火 する恐れがあります。
 禁止 塩素系切削油がミストや油煙化した 雰囲気内で使用しない。 * 樹脂部品に付着すると、化学変化が起き て樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品 などでケガをしたり、部品破損により思 わぬ事故が起きる危険があります。	 禁止 温度の高い場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 雰囲気温度範囲は0℃～40℃です。
	 禁止 湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度80%以下でご使用ください。
 禁止 火のついたままのタバコやマッチ、灰 などを吸引しない。 * 火災や事故の原因になります。	 禁止 尖った硬いものは吸引しない。 * フィルターが破損し、モータ焼損によ る火災の原因になります。
 禁止 運転中に吸引口や排気口をふさがない。 * モータの温度上昇により事故が発生する 可能性があります。	 強制 パイプやホースに吸引物などが詰ま ったときは、すぐにスイッチを切る。 * モータの温度上昇により事故が発生する 可能性があります。
 強制 ノズルの取付け／取外しの際は、必ず 電源を切る。 * 事故やケガ、故障の原因になります。	 接触禁止 吸引口やノズルの中に手や指を入れ ない。 * ケガの原因になります。
 強制 階段付近で使用するときは、細心の 注意を払う。 * バランスを崩し転倒の恐れがあります。	 禁止 ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因に なります。

⚠️ 注意

 禁止 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。	 禁止 電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。 必ず伸ばした状態で使用してください。
 禁止 電源プラグに金属片やゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。	 強制 使用後は、電源コードが踏まれないようにする。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。束ねてコードホルダーに掛けて保管してください。
 強制 定期的に電源コードやプラグが傷んでいないか点検する。 特にドアの間に挟んだり、コードを踏んだりした際には必ず点検する。	 強制 電源コードの交換は、必ず製造者もしくはその代理店、または同等の有資格者が行う。 * 危険を防止するため
 強制 プラグをコンセントから抜く際は、必ずクリーナーの電源を切る。 * 感電の恐れがあります。	 強制 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。
 プラグを抜く 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	 プラグを抜く お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。

梱包内容

クリーナー本体

※布フィルター装着済



キャスター(4個)



フロアノズル



丸ブラシノズル



スキマノズル



紙パック(10枚入)



ホース組品



直管パイプ(伸縮式)



取扱説明書(この冊子)

各部の名称



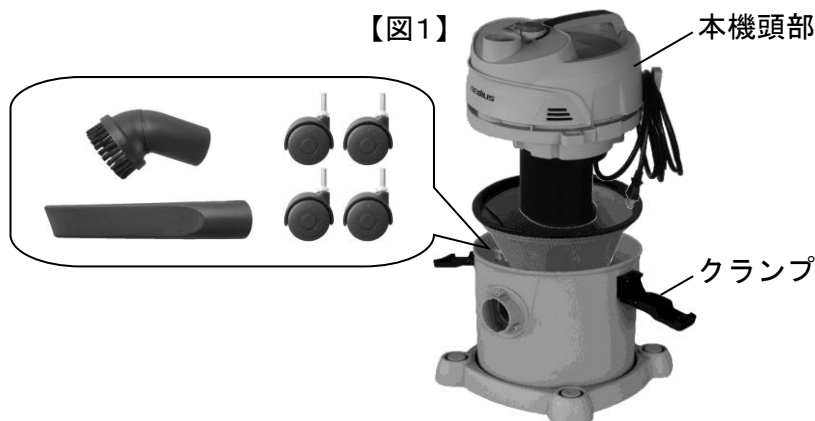
お掃除前の準備

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。

タンク内部から部品を取出す

クランプを解除し、タンク内部から付属品を取出してください。

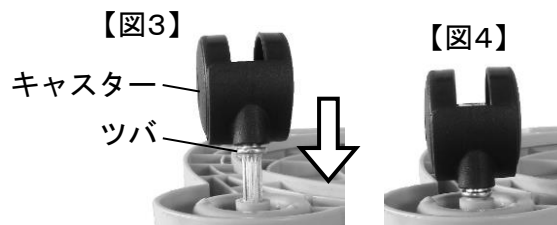
【図1】



キャスターを取付ける

- ① タンクを裏返してください。
- ② タンク底面のキャスター取付穴にキャスター4個を差込んで取付けてください。【図2】
※キャスターのツバまでしっかり差込んでください。

【図3～4】



紙パックを使用する場合の取付け

⚠ 注意



強制

- ・布フィルター、紙パックを取付けるときは、必ずクリーナーの電源を切る。
* 事故やケガの原因になります。
- ・紙パックは、必ず純正紙パックを使用する。
* 純正以外の紙パックを使用した場合、吸引力が低下し風量不足などでモーターがオーバーヒートする場合があります。

注記

- ① 紙パックは、正しく装着してください。
正しく装着していないと、ゴミが漏れて、クリーナーの故障の原因になります。
- ② 紙パックに無理な力を加えないでください。破れる原因になります。
- ③ 布フィルターなしで本機を使用しないでください。
* クランプで密閉できなくなるため、吸引／吹出能力が発揮できません。
* モーターにほこりが入り込み、故障の原因になります。

紙パックを使用する場合の取付け

① 布フィルターを外します。【図5】

【図5】



② 紙パックの厚紙部分を持ち、タンク内の吸込み口に紙パックを被せます。【図6～8】

【図6】



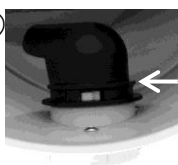
【図7】



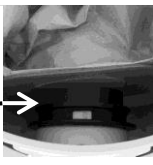
【図8】



(拡大図)



(拡大図)



(拡大図)



このラインを越えるまで厚紙をかぶせてください

③ 布フィルターを取付けます。【図9】

【図9】

【図10】

④ タンクに本機頭部を載せてクランプを閉じます。【図10】
本機頭部とタンクの向きにご注意ください。



ホース、ノズル類の装着

⚠ 注意



強制

付属品は、当社指定のものを使用する。
付属品を取付ける際は、必ず電源を切る。
* 事故やケガ、故障の原因になります。

《ホースの着脱》

(1) 吸引清掃のとき

① ホース側の突起とタンクの吸込み口側の突起の位置を合わせて差込みます。【図11～12】

② ホースを軽く押込みながら右に止まる位置まで時計回りに回転させて固定します。【図13】

③ ホースを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。【図14】

【図11】

凹凸を合わせる



【図12】



【図13】



【図14】



ホース、ノズル類の装着

(2) 吹飛ばし清掃のとき

本体頭部の排気口にホースを差込むと、吹飛ばし清掃ができます。

- ① 本機頭部の排気口の切欠きに、ホース側の凸部を合わせて差込みます。【図15】
- ② ホースを押込みながら、止まる位置まで時計回りに回転させて固定します。【図16～17】
- ③ 軽くホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。【図18】

【図15】



【図16】



【図17】



【図18】



吹出し
←



(3) ホースの取外し方

ホースを接続時とは逆の反時計回りに回してから吸込み口、または排気口より引抜いてください。

《直管パイプの取付け》

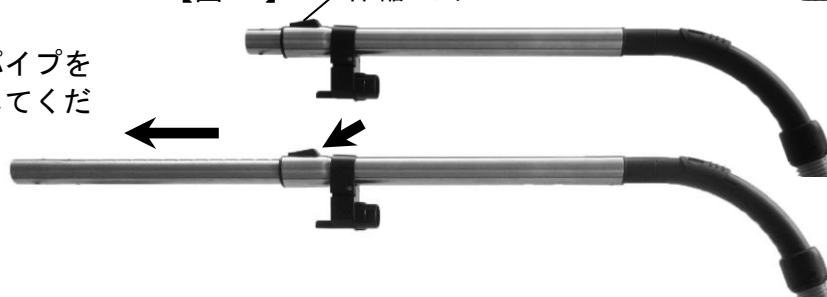
- ① ホース先端に直管パイプを接続します。しっかり固定されるように奥まで差込んでください。【図19】
- ② 直管パイプは伸縮式です。伸縮ストッパーを押しながらパイプを伸ばす／縮めて長さの調節をしてください。【図20】

【図19】



【図20】

伸縮ストッパー

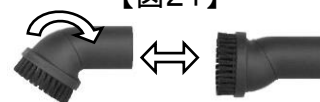


《ノズルの取付け》

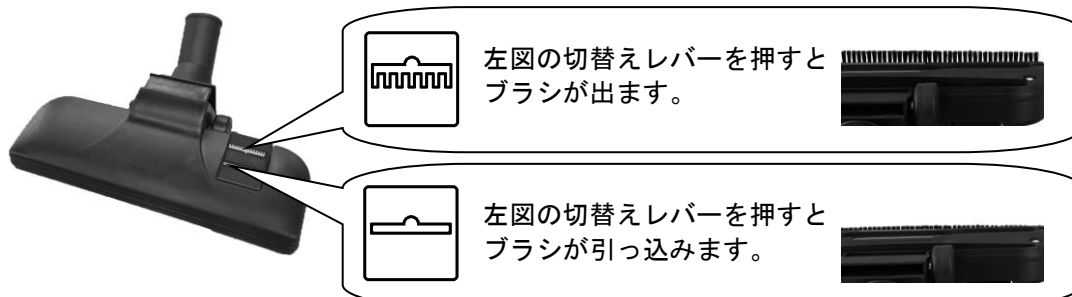
用途に合わせて各種ノズルをご使用ください。

- フロアノズル : 床掃除などに
- 丸ブラシノズル : 家具の掃除などに
※ヘッドを回せばブラシの向きが変えられます【図21】
- スキマノズル : 家具の隙間や狭いところのお掃除に

【図21】



■フロアノズルのご使用方法■



ご使用方法

⚠ 注意



強制

必ず所定の場所に各フィルターを取付けて使用する。
* モータにほこりが入り込み、故障の原因になります。

注記

- ① 本機は<軽じん用>です。10 μ m以下の微粉じんの吸引はモータ焼損事故の原因になります。
※10 μ mの目安は、指でつまんですり合わせたとき、指紋に入るくらいの大きさです。
- ② 水や液体などと粉じんを連続して吸わせないでください。
- ③ 布フィルターが濡れているときは、乾いたゴミは吸わせないでください。
- ④ 乾いたゴミを掃除した直後に水や液体を吸引すると、布フィルターが目詰まりしやすくなります。
水や液体を吸引する前に、布フィルターに付着したゴミを取除いてください。
- ⑤ 水や粘度の低い液体は吸引できますが、油類やドロドロした粘度の高い液体は吸引しないでください。故障の原因になります。
- ⑥ 使用する前に必ず布フィルターが正しくセットされているか、ゴミがタンク一杯になっていないかをチェックしてください。※モータにほこりが入り込み故障の原因になります。
- ⑦ 横倒しで使用しないでください。
- ⑧ お掃除の際は、電源コードを必ず伸ばした状態で使用してください。
※巻いたままでお掃除をすると、電源コードが発熱して火災の危険があります。
- ⑨ 電源コードを無理に引っ張らないように本体を移動してください。
※無意識のうちに引っ張ってしまうことがあります。ピンと張ると断線の原因になります。

《清掃をする》

(1) 電源を入れる

- ① 電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。
- ② スイッチを押すと電源が入ります。【図22】
※スイッチは押下げた位置で止まらず元の位置に戻ります。
※前回電源を切ったときの風量で運転が始まります。
- ③ もう一度スイッチを押すと電源が切れます。【図22】

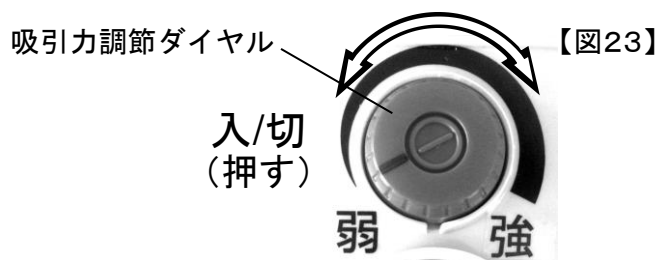


(2) 吸引力を調節する

方法1：吸引力調節ダイヤルを回す【図23】

方法2：ホースの手元パイプ部分の風量調節穴を開閉する【図24～25】

※吹飛ばし風量の強弱は調節できません。



ご使用方法

(3) 吹飛ばし清掃について

- ① 本体頭部の排気口にホースを差込むと、吹飛ばし清掃ができます。(7ページご参照)
- ② 吸引力調節ダイヤルで吹出し風の強弱が調節できます。
※手元パイプの風量調節穴では調節できません。



(4) 便利なホルダー類

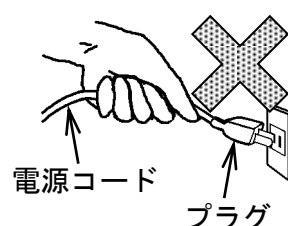
ノズル類を差しておけます。
お掃除途中のノズル交換の際、
すぐに取り出して便利です。



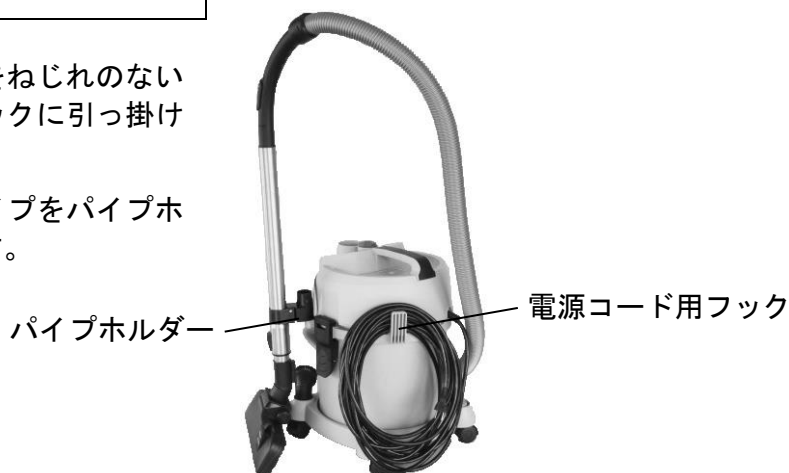
(5) お掃除終了時

- ① スイッチを押して電源を切ってください。
※次に電源を入れたとき、電源を切ったときの風量で運転が始まります。
- ② 電源プラグをコンセントから抜いてください。
※必ず先にスイッチを切ってください。
※プラグを持って、真っ直ぐ抜いてください。

注記 電源コードを横に引っ張ってプラグを抜くと、プラグ先端が変形して使えなくなります。



- ③ 感電事故防止のため電源コードをねじれのないように巻いて、電源コード用フックに引っ掛けて保管してください。
- ④ ホースを接続したままの伸縮パイプをパイプホルダーに引っ掛けて保管できます。



ご使用方法

(6) ゴミがたまったら（タンクにたまったゴミを捨てる）

- ① 作業後は、タンク内のゴミを必ず捨ててください。
タンク内にゴミをためたままにすると、ゴミがタンク内で固形化して付着したり、ゴミが腐敗して悪臭や細菌、錆が発生する場合があります。
- ② タンクを乱暴に扱うと、タンクが変形し、クリーナーに装着したときに真空度が低くなり性能が著しく低下する場合があります。タンクは変形しないように扱ってください。
- ③ ゴミを捨てる際は、タンク内のゴミで手を傷つけないように保護手袋をしてください。
また、タンクを足の上に落としてケガをしないように安全靴の着用をおすすめします。
- ④ 産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。



水や液体を吸引するときのご注意

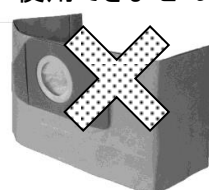
本機は、粉体と液体の両方を吸引できる構造になっていますが、取扱いを誤るとオーバーフロー（吸引した液体が噴出）する恐れがあります。
液体を吸引するときは、下記の方法で作業をしてください。

- ① 必ず布フィルターをつけた状態でご使用ください。
紙フィルターはご使用できません。

必ず装着



使用できません



- ② 水や液体の吸引を続けていると、布フィルターが湿ってきます。
布フィルター面積の3分の2程度濡れた状態で使用を続けると排気口から水が霧状になって吹き出てくる場合があります。【図26】
霧状の水が出る状態で吸引清掃を続けると故障の原因になります。
一旦水や液体の吸引を中断し、布フィルターを乾かしてから再度装着して水や液体を吸引してください。

【図26】



- ③ 水や液体を吸引した後は、速やかにタンク内の水や液体を捨ててください。
布フィルターにも液体が溜まっていることがありますので、布フィルターに溜まった液体も必ず捨ててください。

- ④ 水や液体を吸引した後に、乾いたゴミを吸引するときは、布フィルターを完全に乾かしてからタンクに装着してご使用ください。



★液体または粉体の専用機としての使用が効率的です。

粉じんと水や液体のどちらも頻繁にお掃除する場合は、布フィルターを2枚ご用意いただき、粉じん専用と、水や液体専用に分けてご使用されることをおすすめします。
布フィルターは別売品でご用意しています。

水や液体を吸引するときのご注意

《フロート（オーバーフロー防止装置）》

- ① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフロー防止のために吸引を停止する装置です。
- ② 装置が動き、吸引が停止したら、電源スイッチを切ってからタンク内の液体を捨ててください。



— スポンジフィルター
— フロート(内部)

お手入れ

⚠ 注意

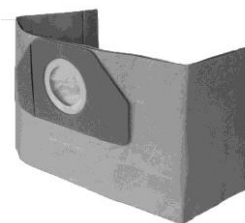
! 強制 クリーナーのお手入れの際は、必ず電源を切る。 * 火災、感電、ケガなどの原因になります。	! 強制 病院でご使用の場合、ゴミで一杯になった紙パックの処分方法は、病院の指示に従う。
! 強制 布フィルター、紙パックのメンテナンスの際は、必ず電源を切る。 * 火災、感電、ケガの原因になります。	! 強制 クリーナーを使用した後は、必ず布フィルターを掃除する。 * 火災、感電、ケガなどの原因になります。
! 強制 紙パックに損傷があったり、ゴミが一杯になっていたら必ず交換する。	! 強制 乾いた布フィルターを取付ける。 * 布フィルターが湿っていたらよく乾かしてから取付けてください。

注記 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

- ① 絞ったきれいな雑巾などでクリーナーの外側のほこりや汚れを拭取ってください。
- ② 屋内の清潔で乾燥した場所に保管してください。

《紙パック》

ゴミが一杯の状態または損傷のある紙パックは交換してください。
※5～6ページの「紙パックを使用する場合の取付け」の項をご参照ください。



《布フィルター》

注記 布フィルターなしで本機を使用しないでください。

布フィルターが汚れた場合は、水洗いできます。
洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。
汚れがひどい場合は交換してください。

定期的に布フィルターを点検し、必要に応じて取替えてください。



お手入れ

《スポンジフィルター》

注記 スポンジフィルターなしで本機を使用しないでください。



- ① 本機頭部をタンクから外して上下逆に置きます。
- ② フタを回して外します。
- ③ スポンジフィルターを破らないよう取出してください。



安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。

点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは変形したりグラついたりしませんか？	電源コードの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・伸縮パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
紙パックは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
紙パックが破れていませんか？	紙パックを交換してください。
紙パックがゴミで一杯になっていませんか？	紙パックを交換してください。
タンクは変形したり割れていませんか？	タンクの交換が必要です。
タンクは正しく装着していますか？	クランプを確実に閉めてください。
クランプは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
各部のネジ、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったらときは、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
●運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
	過熱防止装置が働いていませんか？	スイッチを切り、パイプやホースに吸引物などが詰まっていれば取除いてください。 過熱防止装置は自動復帰します。 約15分後、スイッチを入れると運転再開できます。
	モータの寿命ではありませんか？	モータの交換が必要です。 モータの寿命は、約500時間が目安です。
●吸引しない。 ●発生音が高くなった。	紙パックが吸引物で一杯になっていませんか？	紙パックを交換してください。
	ホースや吸引口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	タンクに亀裂が入っていませんか？	タンクの交換が必要です。
●吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸引口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	ホースが破れていませんか？	ホースを交換してください。
	本機頭部とタンクは完全に密閉していますか？ 隙間ができていませんか？	本機頭部とタンクを正しく合わせて、 クランプで確実に固定してください。
	紙パックが目詰まりしていませんか？	紙パックを交換してください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを 交換、または故障原因を取除いてください。
●紙パック交換後、 モータは動くが吸引しなくなった。	紙パックが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

仕 様

品 番	NV-115AMZ
電 源	100 V
消 費 電 力	1,150 W
電 流	11.8 A
最 大 風 量	2.6 m ³ /min
最 大 真 空 圧	18.5 kPa
吸 込 み 仕 事 率	210 W
フ ィ ル タ ー 面 積	布フィルター：0.16 m ²
紙 パ ッ ク 容 量	1.1 L
タ ン ク 実 容 量	6.4 L（液体のみ：2.3 L）
ホ ー ス	径φ32×長さ2 m
電 源 コ ー ド	長さ10 m
本 体 寸 法	幅317×奥行330×高さ427 mm
標 準 質 量	7.2 kg（本体質量 5.8 kg）

- 注記**
- ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
 - ②標準質量は、ホース、伸縮パイプ、フロアノズル、紙パックの質量を含みます。
 - ③本体質量は、本体のみの質量です。

別売消耗部品のご案内

⚠ 注 意



禁止

当社純正品以外の紙パックを使用しない。

*クリーナーの紙パックは、機能部品です。当社純正品以外の紙パックを使用した場合、モータの発煙・発火が発生する恐れや、クリーナーの性能・品質の劣化がおこる恐れがあります。

必ず純正品をご使用ください。

セットの仕方、取扱上の注意などは、本取扱説明書の5～6ページをご参照ください。

- 注記** 紙パックは使い捨てです。繰り返して使用しないでください。

紙パック〔10枚入〕



布フィルター〔1個〕



スポンジ
フィルター
〔1個〕



ホース組品〔1本〕



製品保証書（持込修理）

品 番 NV-115AMZ		製品保証期間	本体 お買い上げ日より1年間	
		※お買い上げ日	西暦	年 月 日
※お客様	〒 TEL			
	ご住所			
※販売店	お名前 様			
	所在地 〒			
	店 名			
TEL				
印				
※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。				
本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。 無料修理規定 - 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。 - 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。 (A) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。 (B) お買い上げ後の落下等および輸送上の故障および損傷。 (C) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変や異常電圧などによる故障および損傷。 (D) 一般的な用途以外に使用された場合の故障および損傷。 (E) 本書のご提示がない場合。 (F) 本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。 - ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。 - ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。 - 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。 - 本書は日本国内においてのみ有効です。 - 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。 ☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。				

⚠ 注 意



強制

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

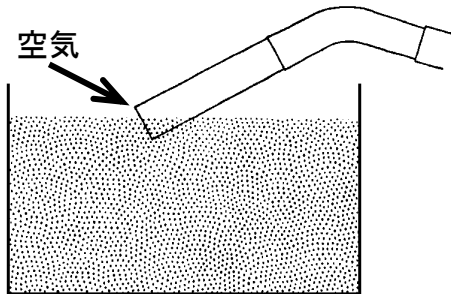
- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
 - * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

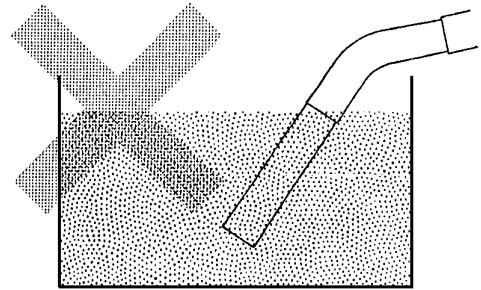
補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、クリーナーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



ホースや直管パイプで直接吸引するときは、空気も吸引できるように、ホースや直管パイプの先端を下図のように液体表面から少し出してご使用ください。



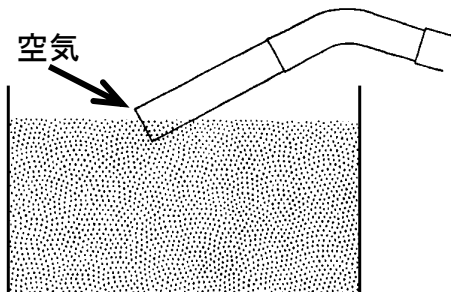
液体の中にホースや直管パイプを差込んで吸引しないでください。
オーバーフローの原因になります。



手元パイプに風量調節穴があります。
水や液体などを吸引するときは風量調節穴を
開けてください。



ホースや直管パイプで直接吸引するときは、空気も吸引できるように、ホースや直管パイプの先端を下図のように液体表面から少し出してご使用ください。



液体の中にホースや直管パイプを差込んで吸引しないでください。
オーバーフローの原因になります。

